

狗楨

葉扁大於楨不結子人家庭園栽之

〔大和本草園木〕羅漢松 閩書ノ南產志出タリ、古歌ニヨメルマキト云ハ杉ナリ、マキノ葉マキノ
戸ナドヨメリ、日本ノ古書被ヲマキト訓ゼリ、被ハ字書白杉也、然ラバ杉ヲ古ニマキト云ルナラ
ン、杉ヲマキト云ニ對シテ、羅漢松ハ犬マキト云、今ハ只マキド稱ス、故實ヲ失ヘリ、西州ニハクサ
マキト云、其臭クサケレバナリ、犬マキノ未、其實犬ニシテ小指ノ如ク長クシテ、人ノ形ニ似テ僧
ノ袈裟カケタルガ如シ、故ニ羅漢ノ名アリ、實ノ色黃赤也、日本紀、舊事記、順和名抄ニハ皆被ヲマ
キト訓ズ、和名抄曰、被木名埋之能不腐者也、又日本紀舊事紀ニモ、被ヲ用テ棺ニ作ルベキ事ヲイ
ヘリ、久シク朽ザル故ナルベシ、本草ニ被トイヘルハ榧ナリ、然レバ被ノ字彼是倭漢通用セリ、今
案杉及羅漢松ノ大木ノ心ヲ以、棺ニ作レバ、久シク不腐、土外ニ顯レタルハ早クダザル、矧ト云モノハ羅漢松ノ皮ナリ、船ノヌキマラフサグモノ
也、木曾山ヨリ出ヅ、

〔本草一家言木〕羅漢松○中羅漢松又名羅漢樹、和名犬楨、又名臭楨、樹葉頗同金松、但葉色深綠結子
儼然如阿羅漢像頭、如未熟葡萄下體如半熟棗、相點綴而成一僧形可謂奇物、與金松實不相類、二種
我邦忌用宮室料、供棺槨用而已、事見日本紀神代卷圭錄

〔饅頭屋本節用集草木〕南木

〔書言字考節用集生植〕橘未詳

柳仙動木

〔倭訓栞前編十九〕なぎ○中 著聞集に成通卿熊野に詣て蹴鞠ありしに、夢中になぎの葉一枚得
てまもりにこめて持たれし事を玄るし、保元物語に、きりめの王子のなぎの葉を、百度千度かざ
さんとこそおぼしめすと見え夫木集に、熊野の事をよめる歌になぎの葉にみがける露など見
えたり、熊野にてなぎを尊ぶは、伊弉諾尊より出たるなるべし、此は樹になぎと稱するもの也、葉